

令和4年度

事業計画書

公益財団法人立川市地域文化振興財団

目 次

基 本 方 針	1
定 款 事 業 別 体 系 図	2
事 業 区 分 別 事 業 計 画	3

基本方針

令和4年度は、立川市地域文化振興財団の第2次中期経営計画の3年目となります。財団は与えられた役割に基づき、事業を積極的に進めるとともに、市民の文化活動において財団の支援のあり方を探求し、立川市の第4次長期総合計画「にぎわいとやすらぎの交流都市 立川」を目指します。

優れた芸術に触れる機会を創造する「鑑賞事業」、市民が気軽に参加や体験することで文化芸術の普及を図る「普及事業」、若手アーティストや市民の文化活動を支援する「支援事業」、地域コミュニティの活性化を図る「地域コミュニティの活性化及び振興事業」等、それぞれに財団設立の昭和63(1988)年以来培ってきた経験・ネットワークを生かし、良質な事業を実施します。

新型コロナウイルス感染症拡大防止においては、国、都、市の方針を遵守し、状況に応じた感染防止対策を講じ、催し物・公演の開催、または中止・延期の判断を慎重に行い、文化活動を絶やさぬよう努めてまいります。これまでに蓄積したノウハウを活かし、引き続き最善の感染防止策を講じながら、来場者・参加者が安心、安全にご利用いただける取り組みを進めてまいります。

職員には、芸術・文化に関する専門的な知識を深めながら、市との政策連携、市民や地域、関連分野との連携を推進できる総合的なスキルを備えた人材の育成に引き続き取り組みます。

事業の概要

1 文化芸術の鑑賞並びに活動の普及及び支援に関する事業

【鑑賞事業】クラシックジャンルでは及川浩治ピアノ・リサイタル、三ツ橋敬子指揮・東京交響楽団によるフレッシュ名曲コンサート、錦織健&森麻季によるデュオリサイタル、徳永二男の「作曲家の謎！」シリーズ、ポピュラージャンルでは映画音楽などで活躍する「高木正勝」、演劇古典芸能鑑賞では雅楽と絵本作家、声優による「痛快！ねぎぼうずのあさたろう」などを開催します。美術鑑賞では、昭和初期に北多摩郡砂川村(現 立川市砂川町)に居住していた日本画家・むらたたんりょう 邨田丹陵の生誕150周年特別展を開催します。

【普及事業】28回目となる市民の絵画作品を展示する「アートギャラリー展」を開催し、市内小学校全19校に音楽鑑賞事業を実施するほか、落語やアート、ダンスのキャラバン事業などを実施します。また、市民会館ロビーや地域で開催する「水曜コンサート」「どこでもステージ」など文化芸術の普及活動を実施します。

【支援事業】2日間で100組以上の市民奏者が参加し市内各所で開催する「立川いったい音楽まつり」を市民実行委員会とともに実施し、市民の文化芸術活動を支えます。

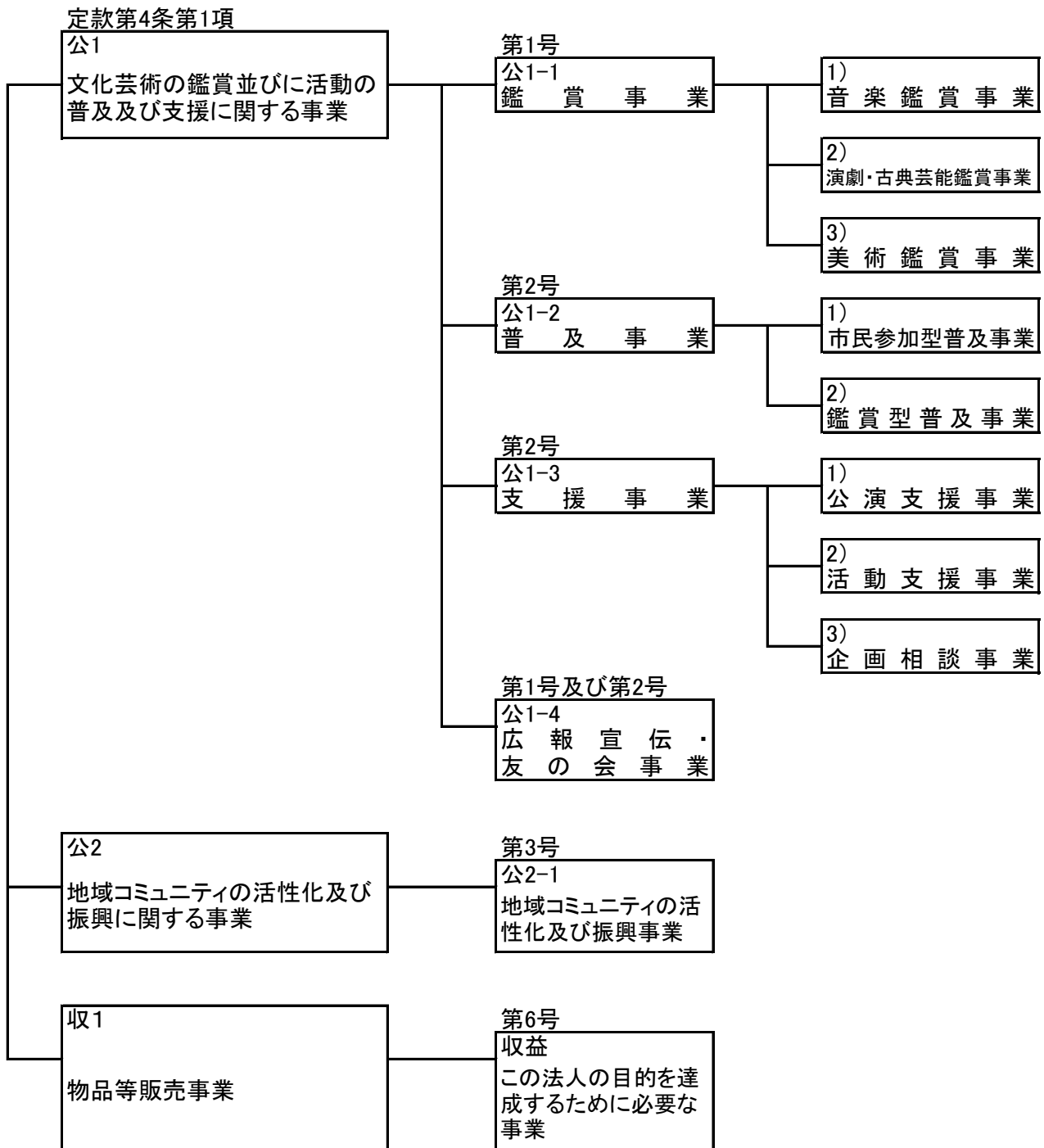
【広報宣伝・友の会事業】様々な情報ツールを活用し、財団や市民の文化芸術活動の情報を発信します。

2 地域コミュニティの活性化及び振興に関する事業

- ・「立川よいと祭り」「たちかわ楽市」の協働事務局を引き続き担当します。親子で参加できるワークショップでは、外出自粛ストレスからの心の解放を行うため様々なジャンルに取り組みます。

3 人材育成の強化と、法令等に基づく的確な法人運営

- ・立川市、全国公立文化施設協会等の研修へ積極的に参加するほか、職員自身が研修テーマを決め、大学の公開講座などの外部研修に参加する制度を継続実施します。
- ・コンプライアンスの遵守と個人情報の管理を徹底し、信頼される財団を目指します。



事業区分別事業計画

注1) 予算額は費用を記載

注2) 実施場所の大・小ホール、展示室、サブホール、市民ロビーは、たましんRISURUホール内施設

1 文化芸術の鑑賞並びに活動の普及及び支援に関する事業 公1-1 鑑賞事業（定款第4条第1項 第1号）【公益目的事業】

1)音楽鑑賞事業		予 算 額	
		29,546 千円	
事業概要	<p>財団の行動指針にあるように、多くの市民が心のやすらぎと明日への活力を得られるよう、感染症拡大の予防策を講じながら、できる限り様々な事業を実施していく。</p> <p>●クラシックジャンルは、国立音楽大学出身で当ホールでもお馴染みのピアニスト・及川浩治が1999年に公演し好評を博した「ショパンの旅」のオリジナル版を再演する。同じく、国立音楽大学出身のテノール歌手・錦織健と多摩フレッシュ音楽コンクールにも出場したことのあるソプラノ歌手・森麻季によるデュオが実現。小ホールでは、毎回完売必至の「外山啓介ピアノリサイタル」や未来音楽企画との共同主催で「春・夏・秋・冬コンサート」を開催する。その他、親子で楽しむことができる「絵本deクラシック」は保育園でのアウトリーチも計画している。</p> <p>●ポピュラージャンルは、女性総合センターアイムホールで共同主催でやぎりんトリオを開催するほか、大ホールでは高木正勝、ザ・クロマニヨンズ等のコンサートを開催する。その他、コロナ禍でも開催が可能なものがあれば臨機応変に対応できるよう準備しておく。</p>		
令和4(2022)年度の予定			
内 容	実 施 日	実施回数	実 施 場 所
クラシックジャンル(主催)		22回	
及川浩治ピアノ・リサイタル「ショパンの旅」	4月9日		大ホール
外山啓介ピアノ・リサイタル	7月2日		大ホール又は小ホール
ピアノの森コンサート※	8月28日		大ホール
絵本deクラシック「ブレーメンの音楽隊」	9月25日		大ホール
フレッシュ名曲コンサート事前キャンペーン 大崎由貴 ピアノ・プレコンサート	9月9日		小ホール
フレッシュ名曲コンサート 三ツ橋敬子指揮/東京交響楽団	11月13日		大ホール
錦織健&森麻季デュオ・リサイタル	11月19日		大ホール
パスカル・ロジェ ピアノ・リサイタル※	11月26日		大ホール
たちかわニューイヤー・オペラ・ガラコンサート※	1月7日		小ホール
国立音楽大学コンサート	3月26日		大ホール
「春・夏・秋・冬」コンサート※(全4回)	4・7・10・1月		小ホール
徳永二男「作曲家の謎！シリーズ」(全4回)	6・9・12・3月		大ホール又は小ホール
ポピュラージャンル(主催)			
やぎりんトリオ※	4月17日		アイムホール
三浦祐太郎LIVE※	12月10日		大ホール
ザ・クロマニヨンズLIVE※	2月5日		大ホール
高木正勝コンサート	未定		大ホール
※は共同主催事業			

2)演劇・古典芸能鑑賞事業		予 算 額	
		4,178 千円	
事業概要	<p>演劇や読み語り、伝統芸能など、幅広い年代で多くの方が鑑賞できる事業を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●毎年好評を得ている劇団東少の子ども向けミュージカルは「眠れる森の美女」を上演する。 ●「痛快！ねぎぼうずのあさたろう」は、絵本の読み語りコンサートで、雅楽(箏、笙、龍笛)の演奏と絵本作家本人と声優による語り付きで公演する。 ●笑ホール寄席は、人気・実力を兼ね備えた出演者による二人会等を開催する。 		
令和4(2022)年度の予定			
内 容	実 施 日	実施回数	実 施 場 所
演劇舞踊ミュージカル等(主催)		7回	
劇団東少「眠れる森の美女」※	5月14日		大ホール
古典芸能等(主催)			
新春たちかわ寄席※	1月21日		大ホール
痛快！ねぎぼうずのあさたろう ～絵本時代劇 読み語りコンサートの旅～	2月19日		大ホール
笑ホール寄席(4回)	6月ほか		小ホール
※は共同主催事業			

3)美術鑑賞事業		予 算 額	
		2,194 千円	
事業概要	<p>音楽や舞台芸術と同じく、優れた美術作品を鑑賞することは市民の文化芸術活動を促進する重要な要素と捉え、その機会づくりの事業を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●東京都内の美術館・博物館等にて、展示会の学芸員によるレクチャーを受け理解を深めながら鑑賞する現地集合・解散型のツアーを定期的に開催する。 ●邨田丹陵(むらたたんりょう)は、「大政奉還」図などを残した日本画・歴史画家である。昭和初期に丹陵が北多摩郡砂川村(現・立川市砂川町)に居住していたことにも触れ、丹陵の生誕150周年にあたる令和4年に回顧展を開催する。個人所有のコレクションをたましん地域文化財団や福井県立美術館などの協力を得て展示する。 ●小学校ファーレ立川アート鑑賞教室では、市の芸術作品であるファーレ立川アートを身近に触れ、親しんでもらう機会を立川市の小学5年生全員に提供し、立川の街の魅力を感じる機会を提供する。 		
令和4(2022)年度の予定			
内 容	実 施 日	実施回数	実 施 場 所
美術鑑賞事業	通年	2～3回	都内の美術館・博物館等
邨田丹陵 生誕150周年記念特別展	4月26日～5月8日	1回	展示室
小学校ファーレ立川アート鑑賞教室	通年	19回	ファーレ立川

公1-2 普及事業（定款第4条第1項 第2号）【公益目的事業】

1)市民参加型普及事業		予 算 額	
		2,779 千円	
事業概要	<p>展示及び公演等に市民が参加できる事業として、絵画・演劇・オペラ・吹奏楽のジャンルで事業を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●「たちかわアートギャラリー展」は令和3年度に続き、はがきサイズの小さな作品から出展可能にすることとし、若年層を対象としたU35賞、U25賞を設け応募を呼びかける。また、関連企画として立川女子高等学校美術部展や入賞者展、審査員の指導でスケッチ会も開催する。 ●「真夏の夜の演劇祭」は、実行委員会で運営し、第30回の企画として6月にイベントを計画している。 ●「立川市民オペラ」はガラコンサートでの開催も含め検討を重ねる。 ●自衛隊員を講師とした「中学生吹奏楽クリニック」、国立音楽大学の教員や学生を講師とした「小学生吹奏楽クリニック」は各団体と調整し開催に向けて検討していく。 		
令和4(2022)年度の予定			
内 容	実 施 日	実施回数	実 施 場 所
第28回たちかわアートギャラリー展 同入賞者展	5月21日～29日 5月30日～6月6日	1回 1回	展示室及びサブホール 市役所多目的プラザ
第30回たちかわ真夏の夜の演劇祭	8月	10回	小ホール
立川市民オペラ2023	3月	2回	大ホール
中学生吹奏楽クリニック	4月	1回	立川第二中学校
小学生吹奏楽クリニック	通年	7回程度	市内小学校

2)鑑賞型普及事業		予 算 額	
		8,935 千円	
事業概要	<p>子どもたちに広く平等に芸術に触れる機会を提供するため、立川市内の小学校への訪問事業を継続する。また、遠出しづらい方や幼い子ども達に、地域学習館や学習等供用施設、福祉施設などでコンサートなどを実施することにより文化芸術を身近に感じていただく機会を増やす。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●子どもたちの心豊かな情操を育む「小学校演劇体験事業」は、立川市教育委員会と連携し、引き続き親子で楽しめる演劇鑑賞の機会を提供する。 ●「水曜コンサート」はアーティストの発表の場としても開催し、継続して市民の鑑賞機会の提供に取り組む。令和3年度は中止していた「市役所コンサート」も再開に向けて検討する。また、Youtubeでの配信を続け来館できない方にも自宅で鑑賞の機会を提供する。 ●「どこでもステージ」は、立川市内各所でとりわけ高齢者に癒しの時間と文化芸術に触れる機会を提供する。 ●「学校訪問事業」は、音楽、落語、アート、ダンスを提供する。音楽においては、小学校音楽鑑賞事業として立川市教育委員会と連携し、音楽家を派遣し実施する。 ●「国立音楽大学AIMコンサート」は学生支援を目的として、国立音楽大学と協力して実施する。 		
令和4(2022)年度の予定			
内 容	実 施 日	実施回数	実 施 場 所
小学校演劇体験事業 オペラシアターこんにやく座「森は生きている」	10月23日	1回	大ホール
水曜コンサート	月1回水曜日	12回	市民ロビー
市役所コンサート	月1回	11回	市役所多目的プラザ
どこでもステージ	通年	5回程度	市内学習館、福祉施設等
学校訪問事業「音楽・落語・アート・ダンスキャラバン」	通年	40回程度	市内小学校 等
国立音楽大学AIMコンサート	通年	4回程度	AIMホール

公1-3 支援事業（定款第4条第1項 第2号）【公益目的事業】

1)公演支援事業		予 算 額	
		2,050 千円	
事業概要	<p>市民や若手アーティストの多様な文化芸術活動を支援するとともに、文化芸術の育つ環境づくりを図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●「立川いったい音楽まつり」は感染症対策を考えつつ、安全に開催できるよう検討を重ねる(令和2・3年度は中止)。市民と協働し、実行委員会形式で運営する。グリーンスプリングス内のステージでの演奏も計画する。 ●「市民団体共催・後援」は、公演やイベント開催を広報活動などで支援するほか、コロナ禍での感染防止対策などのレクチャーも対応していく。 ●「アーティスト支援」は、多摩フレッシュ音楽コンサート入賞者のリサイタルや自主公演を支援するほか、国立音楽大学の学生によるアトムコンサートの開催等を支援する。また、立川市及び近隣のクラフト作家を紹介するアートマーケットをたましんRISURUホールで開催し、作品の展示・発表の場の提供および支援をしていく。 ●東京多摩公立文化施設協議会の主催で実施する「多摩フレッシュ音楽コンサート」の事務局を担う。令和4年度から「ピアノ部門」と「声楽部門」を隔年で開催する。 		
令和4(2022)年度の予定			
内 容	実 施 日	実施回数	実 施 場 所
第11回立川いったい音楽まつり2022	5月21日～22日	1回	市内各所
市民団体共催・後援	通年	—	大・小ホールほか
アーティスト支援事業	通年	4回程度	小ホール・アトムホールほか
多摩フレッシュ音楽コンサート(ピアノ部門)	7月4日	1回	大ホール

2)活動支援事業		予 算 額	
		— 千円	
事業概要	<p>市民や立川市を構成団体とする団体が行う多様な文化芸術活動を支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●立川文化芸術のまちづくり協議会が行う事業を通じて、不特定多数の市民の文化芸術活動を支援する。 ●立川の文化的資産であるファーレ立川アートの維持管理を行うファーレ立川アート管理委員会の活動を支援する。 ●立川市内での質の高い演劇作品・演劇空間の創造と発信、人材の育成を目指し結成された「立川シアタープロジェクト」の活動を支援する。 		
令和4(2022)年度の予定			
内 容	実 施 日	実施回数	実 施 場 所
立川文化芸術のまちづくり協議会	通年	—	
ファーレ立川アート管理委員会	通年	—	
立川シアタープロジェクト実行委員会	通年	—	

3)企画相談事業		予 算 額	
		7,555 千円	
事業概要	<p>立川市と連携し、事業の企画提案や事業を受託し実施する。</p> <p>●立川市主催事業の「高齢者のつどい」はステージ公演について、参加者が楽しめる企画を提案、実施する。会場は、たましんRISURUホールに戻しての開催となる。</p>		
令和4(2022)年度の予定			
内 容	実 施 日	実施回数	実 施 場 所
高齢者のつどい	10月6～7日	4回	大ホール

公1-4（定款第4条第1項 第1・2号）【公益目的事業】

広報宣伝・友の会事業		予 算 額	
		21,650 千円	
事業概要	<p>コロナ禍でできること、行なっていくべきことを意識しながら、広報宣伝や友の会制度により財団事業の周知を充実させ、来場者の増加を図る。</p> <p>●情報紙「ムーサ」は、コロナ禍における文化芸術の価値を伝えていく。新聞折込配布については、購入者情報を元にターゲットとするエリアを都度変更していく。広告受注はレギュラーの出稿先で埋まる状況のため、掲載枠数を絞るなど多くの広告主の要望に応じていく。</p> <p>●「ホームページ」は、スマートフォンやタブレット端末でも見やすいような画面を構築し、レスポンス対応を図る。トップページのスライダーの停止機能を追加し、障害のある方にも読みやすいような改善を検討していく。</p> <p>バナー広告受注は、市内企業を中心に顧客開拓を図り、契約を実現できるように取り組む。</p> <p>メールマガジンは、業務の必要に応じて無料の提供サービスを通じて再開の検討を行う。</p> <p>●「SNS」については、Twitter、Facebookによる情報の拡散を図り、フォロワー数を増やしていく。</p> <p>●「ムーサ友の会」については、インターネットによる入会及びチケット購入の利便性をPRし、会員及び来場者の増加に努め、コロナ禍で行った会費延伸キャンペーン後の会員メリットや会員増の新規展開を図る。</p> <p>●「市内広報掲示板」は、市民への周知方法の一つとして適正な管理運営を行う。</p>		
令和4(2022)年度の予定			
内 容	実 施 日	実施回数	実 施 場 所
情報紙「ムーサ」	隔月(奇数月)	6回	市内及び周辺市町村
財団ホームページ・SNS運用	通年	—	—
ムーサ友の会	通年	—	—
市内広報掲示板	通年	—	—

2 地域コミュニティの活性化及び振興に関する事業
公2-1 (定款第4条第1項 第3号)【公益目的事業】

地域コミュニティの活性化及び振興事業		予 算 額	
		638 千円	
事業概要	<p>イベントや表彰などを通して、人と人を結ぶコミュニティ事業に積極的に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●「第34回立川よいと祭り」の開催に向けて実行委員会で検討を進める(令和2・3年度は中止)。 ●「たちかわ楽市2022」も、コロナ禍での開催に向けて検討を重ねる(令和2・3年度は中止)。 ●「新春子ども凧あげ大会」は子ども会連合会との連携事業として、子どもたちが日本の正月の風物詩に触れるとともにコミュニティ形成の場として開催できるよう検討を続ける。プレスリリースを積極的に活用することで、開催前、開催後ともPRできるようにしていく。 ●「コミュニティ奨励賞」は、文化芸術での顕著な成績や地域貢献活動に対し、その個人や団体を表彰し市民の関心を深めるとともに、地域活動の活性化を図る。 ●「たちかわワークショップフェスタ2022」は、令和4年度新規事業で、講師を市民公募し、音楽・クラフト・ダンスなど自主企画を提案してもらい、参加者を募る。 ●「キッズワークショップ」は、外出自粛が続く中、子どもたちや保護者などの心の解放を行い、文化芸術への関心を深めるため、様々な内容で開催する。東京文化会館とのミュージックワークショップやアーツカウンシル東京とのキッズ伝統芸能など各団体との連携したプログラムも実施する。 		
令和4(2022)年度の予定			
内 容	実 施 日	実施回数	実 施 場 所
第34回立川よいと祭り	8月6日	1回	サンサンロード
たちかわ楽市2022	11月12日、13日	1回	国営昭和記念公園
新春子ども凧あげ大会	1月	1回	多摩川河川敷市民運動場
コミュニティ奨励賞(表彰式)	3月	1回	会議室
たちかわワークショップフェスタ2022	7月23日、24日	1回	展示室、サブホール ほか
キッズワークショップ	通年	5回程度	展示室、サブホール ほか

3 物品等販売事業

(定款第4条第1項 第6号)【収益事業】

この法人の目的を達成するために必要な事業		予 算 額	
		一 千円	
事業概要	<p>出演者等が公演開催時に、ホールホワイエでCD等の公演関連商品を販売した際、物品販売手数料を徴収する。 販売に当たっては新型コロナウイルス感染予防対策を徹底するよう指導するとともに、客席使用の制限により入場者が少なくなった場合は物販手数料の減免も行う。</p>		
令和4(2022)年度の予定			
内 容	実施時期		実 施 場 所
CD等物品販売	通年		大・小ホール アイムホールほか